

区分	施策の事業展開							5-2-2
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H22以降	備考
森林づくり	森林造成事業							B 継続
	松くい虫防除対策事業							A 継続
	農林業有害鳥獣被害対策事業							A 継続
	里山エリア再生事業							
施設整備	林道整備事業(開設、改良、舗装)							B 継続
	治山事業							B 継続
	作業道整備事業							
市民参加	市民の森整備事業							B 継続
	林道沿線景観整備事業							B 縮小
	山火事被害跡地再生事業(大音寺山)							B 継続
	美鈴湖もりの国周辺施設管理事業							B 継続
総合評価	評価ランク	評価理由		今後の方向性			市民委員会施策提言	
		<p>この施策の基本となる森林づくり事業と林道整備事業は計画的に進められてきている。</p> <p>野生鳥獣による被害対策は、毎年駆除件数は増えているものの、農作物の被害額の減少という点では思うように成果が上がっていない。</p> <p>森林づくりへの市民参加について、イベントには一定の参加者があり、また森林づくりに取り組む市民団体もある。ただし、行政主体から民間主体への移行が思うように進んでいない部分もある。</p>		<p>森林の持つ公益的、多面的な機能を十分に発揮できるよう積極的に森林づくり事業を推進する。また、林道及び作業道路整備等の施設整備を並行して進めていく。</p> <p>松くい虫の蔓延を防ぐため、アカマツ枯損木の伐採を徹底するとともに、野生鳥獣による被害の軽減を図るため、きめ細かな対策を進める。</p> <p>森林づくりへ市民が、自主的に、気軽に参加できるよう、身近な里山を整備するような計画を立案し、森づくりに興味がある市民や市民団体との連携を図って進めていく。</p>			<p>松本の災害対策と景観形成から重要な施策です。森林づくり事業を進めるにあたり、ボランティア作業や本郷地区の山火事跡地再生に対して住民参加意識が低いという指摘や自己評価があります。ボランティア活動参加の成立は、「森林のもつ公益的、多目的機能」が十分享受されることにあります。</p> <p>そのためには、森林整備が進められる必要があります。ボランティアに参加することは、苦痛を超えて、森林のもつ癒しの機能を味わい、喜びとなります。森林づくりに関する市民参加を進めるためにも、林道及び作業道整備などの施設整備をいっそう進める必要があります。また、市民参加が増えるような啓発、企画などを行ってください。</p>	

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	林道整備事業（開設、改良、舗装）	1
-------	------------------	---

事業期間	平成 4 年度 ~ 平成 26 年度	担当 部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500
		記入者	矢島	電話	1625

第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	農林水産業費 農業費
	2	豊かな森林と山村をめざす		大事業	道整備交付金事業費、森林施業道開設事業費

1 概要	事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	林道整備は、森林の整備を促進するために不可欠な事業であり、木材生産のコスト縮減、労働強度の軽減をはじめ、日常的な森林の見回り等、管理活動にも欠くことのできない事業です。		林道の整備を促進して、林道密度を上げるとともに、安全で、かつ快適に森林整備の現場へ行くことができ、その結果、森林整備が促進されるものです。

1 概要	事業内容・計画	内容	基礎となる計画
		1 林道開設事業（林道高遠線 L = 9,130m、林道栗の木線 L = 4,766m） 2 林道改良事業（林道奈川安曇線 19箇所、林道美ヶ原線 4箇所、林道宮ノ入線 4箇所） 3 林道舗装事業（林道奈川安曇線 L = 2,764m）	
		国・県・民間等における類似事業 地元住民から、林道開設、改良及び舗装要望が出されています。	根拠法令等

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	林道開設延長	m	国有林の林道延長	269,168
	林道舗装延長	m	国有林の林道の舗装延長	128,019

2 事業執行 (DO)	事業費	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			必要性	AA	A
		(内訳)	総事業費	万円	17,777.4	17,942.0	11,510.2		15,568.2	有効性	AA	A
			事業費	万円	16,287.0	15,882.0	8,915.0		12,973.0	効率性	A	B
			国・県補助金	万円	7,673.0	6,408.0	4,316.0		6,273.0	公平性	A	B
			市（一般）	万円	1,084.0	1,314.0	909.0		1,120.0	優先性	AA	B
			市（起債）	万円	7,530.0	8,160.0	3,690.0		5,580.0	総合評価	AA	B
			その他（ ）	万円								
		(職員数)	減価償却費	万円						国有林の面積に対し、まだまだ林道網の整備が必要です。		
			人件費	万円	1,490.4	2,060.0	2,595.2		2,595.2			
			正規職員	人	1.80	2.50	3.20		3.20			
			嘱託職員	人								
			臨時職員	人								
			合計	人	1.80	2.50	3.20		3.20			
			事業費に対する収入等の割合	%								

2 事業執行 (DO)	コスト	林道開設・改良延長	m	1,016	472	722	1,239	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段
		単位当たりコスト	円	174,974	380,127	159,421	125,651		拡大	委託化
		市民一人当たりコスト	円	853	786	504	682		継続	市民参加
	指標	林道開設延長	m	265,414	266,078	266,562	H18目標達成率		縮小	事業主体の見直し
		対前年度伸び率	%		100.3	100.2	99.0%		廃止	手続きの見直し
		林道舗装延長	m	122,362	124,507	128,019	H18目標達成率		休止	業務の見直し
	対前年度伸び率	%		101.8	102.8	100.0%	統合	規模の見直し		

市民協働	森林整備を積極的に図るために不可欠な、林道開設、改良及び舗装事業を積極的に推進。									
備考										

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	松くい虫防除対策事業	2
-------	------------	---

事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 23 年度	担当部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500
		記入者	矢島	電話	1625

第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	農林水産業費 農業費
	2	豊かな森林と山村をめざす		大業	林業振興費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を) 松くい虫被害の拡大を防ぐため、マツノザイセンチュウを媒介する、マツノマダラカミキリを誘引しやすい枯れたアカマツを、伐倒駆除するものです。	意図(どういう状態にしたいのか) 全ての枯れたアカマツを、伐倒駆除します。
-------------	-------	---	--

1 概要 (PLAN)	事業内容・計画	内 容 松本市の民有林におけるアカマツ枯損木を、森林組合等に委託し、伐倒くん蒸処理を行います。	基礎となる計画
		市民要望(ニーズ)等の状況 アカマツは、市の木であり、森林所有者の財産であるのみならず、様々な公益的な機能を有し、すばらしい景観を形成しているアカマツ林を守ってほしい。	国・県・民間等における類似事業 根拠法令等 森林病虫害防止法

1 概要 (PLAN)	成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
		アカマツ枯損木の本数	本		
		アカマツ枯損木の処理本数	本		枯損木全数

2 事業執行 (DO)	事業費	項目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	255.6	254.8	3,784.5	3,542.5		必要性	AA	AA
		事業費	万円	90.0	90.0	2,568.0	2,326.0		有効性	B	C
		(内訳)							効率性	A	C
		国・県補助金	万円			547.0	775.0		公平性	A	A
		市(一般)	万円	90.0	90.0	2,021.0	1,551.0		優先性	AA	AA
		市(起債)	万円						総合評価	A	A
		その他()	万円								
		減価償却費	万円								
		人件費	万円	165.6	164.8	1,216.5	1,216.5		本市の民有林の約20%を占めるアカマツ林を守るため、是非とも必要な事業です。		
		(職員数)									
		正規職員	人	0.20	0.20	1.50	1.50				
		嘱託職員	人								
		臨時職員	人								
合計	人	0.20	0.20	1.50	1.50						
事業費に対する収入等の割合	%										

2 事業執行 (DO)	コスト	枯損木伐倒処理本数	本	63	81	634	578	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段
		単位当たりコスト	円	40,571	31,457	59,692	61,289		拡大	委託化
		市民一人当たりコスト	円	12	11	166	155		継続	市民参加
	アカマツ枯損木の本数	本	63	81	634	H18目標達成率	縮小		事業主体の見直し	
	対前年度伸び率	%		128.6	782.7		廃止		手続きの見直し	
	アカマツ枯損木の処理本数	本	63	81	634	H18目標達成率	休止		業務の見直し	
対前年度伸び率	%		128.6	782.7	100.0%	統合	規模の見直し			

市民協働								松くい虫被害の蔓延を防ぐため、引き続き、徹底して実施。
備考								

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		市民の森整備事業				3						
事業期間		平成 13 年度 ~ 平成 22 年度		担当部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500					
記入者		矢島		電話	1625							
第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち			会計	一般会計						
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる			款・項	農林水産業費 農業費						
	2	豊かな森林と山村をめざす			大事業	市民の森整備事業						
事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）								
	市民が、手軽な林業体験ができる機会を提供するものです。			その林業体験等を通じ、森林・林業等への理解と関心を深めてもらうものです。								
事業内容・計画	内 容			基礎となる計画								
	1	春イベント	きのこの菌打ち体験 一般公募	50人								
	2	夏イベント	下草刈りとネイチャーゲーム 岡田小学校児童	70人								
	3	秋イベント	ヒノキの枝打ちとキノコ鑑定会 一般公募	20人								
4	秋イベント	炭焼き体験 一般公募	30人									
市民要望（ニーズ）等の状況			国・県・民間等における類似事業		根拠法令等							
一般公募すると、多くの参加申し込みがあり、定員を超えると断っている状況です。			長野県林業センターにおいて、「森林教室」を実施しています。									
成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値						
	林業体験への多くの市民参加		人	参加人数		200						
森林・林業への理解		人	参加人数		200							
2 事業執行（DO）	（内訳）	総事業費	万円	186.8	175.4	169.1	176.1	3 評価・分析（CHECK）	評価項目	第1次評価	第2次評価	
		事業費	万円	104.0	93.0	88.0	95.0		必要性	A	A	
		国・県補助金	万円						有効性	B	B	
		市（一般）	万円	104.0	93.0	88.0	95.0		効率性	B	B	
		市（起債）	万円						公平性	B	C	
		その他（ ）	万円						優先性	A	B	
		減価償却費	万円						総合評価	B	B	
		人件費	万円	82.8	82.4	81.1	81.1		近年、自然環境への関心が高まる中、森林の持つ公益的機能が注目されています。一方、森林所有者の高齢化等により、放置、荒廃した森林が増えています。そこで、一般市民に現状を認識し、理解してもらうため、手軽に林業体験を提供できるこの事業を継続する必要があります。			
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10					
		嘱託職員	人									
	臨時職員	人										
	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	4 展開（ACTION）					
	事業費に対する収入等の割合	%								展開の方向	展開の手段	
	林業体験への多くの市民参加	人	160	170	164	170				拡大	委託化	
	単位当たりコスト	円	11,675	10,318	10,311	10,359				継続	市民参加	
市民一人当たりコスト	円	9	8	7	8	縮小	事業主体の見直し					
指標	林業体験への多くの市民参加	人	160	170	164	H18目標達成率	廃止	手続きの見直し				
	対前年度伸び率	%		106.3	96.5	82.0%	休止	業務の見直し				
	森林・林業への理解	人	160	170	164	H18目標達成率	統合	規模の見直し				
	対前年度伸び率	%		106.3	96.5	82.0%	より多くの市民に参加していただくために、市民の森のPRを図り、他の事業種目の検討、また合併4地区での実施を検討。					
市民協働												
備考												

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	農林業有害鳥獣被害対策事業	4
-------	---------------	---

事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 23 年度	担当 部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500
		記入者	矢島	電話	1625

第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	農林水産業費 農業費
	2	豊かな森林と山村をめざす		大事業	農林業有害鳥獣被害対策事業

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
		野生鳥獣による農作物、林業被害及び生活環境に及ぼす被害等。	野生鳥獣による被害の軽減を図るものです。

2 事業内容・計画	内容	基礎となる計画
	野生鳥獣による被害の軽減を図るため、次の事業を実施しています。	
	1 有害鳥獣駆除に対する補助 (委託) 2 カモシカ、サルの捕獲 3 クマの個体数管理、学習放獣 4 緩衝帯整備及び捕獲檻の購入等	
	市民要望 (ニーズ) 等の状況	国・県・民間等における類似事業

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	有害鳥獣駆除数	頭・羽	有害鳥獣駆除による捕殺数	5,000
	農林業の鳥獣被害額	万円	水稲、野菜、果樹及び森林の鳥獣被害額	4,000

2 事業執行 (DO)	事業費	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度					
		総事業費	万円		1,731.0	1,560.0	1,859.0		必要性	A	A	
		事業費	万円		907.0	749.0	1,048.0		有効性	B	B	
		(内訳)	国・県補助金	万円		185.0	151.0		184.0	効率性	AA	A
			市 (一般)	万円		722.0	598.0		864.0	公平性	B	B
			市 (起債)	万円						優先性	A	A
			その他 ()	万円						総合評価	A	A
			減価償却費	万円						農耕地や里山の保全のためには、耕作の持続が不可欠ですが、野生鳥獣による農林業被害は、耕作を阻害する大きな要因となっています。そこで、農家の生産意欲を低下させないため、この事業は是非必要な事業です。		
		(職員数)	人件費	万円		824.0	811.0		811.0	展開の方向	展開の手段	
			正規職員	人		1.00	1.00		1.00	拡大	委託化	
			嘱託職員	人						継続	市民参加	
			臨時職員	人						縮小	事業主体の見直し	
		事業費に対する収入等の割合	%						廃止	手続きの見直し		

コスト	有害鳥獣駆除数	頭・羽		3,368	3,534	4,000	4 展開 (ACTION)	休止	業務の見直し
	単位当たりコスト	円		5,140	4,414	4,648		統合	規模の見直し
	市民一人当たりコスト	円		76	68	81		合併4地区においても、同様の事業を実施していますが、実施方法が異なる面があるため、統一化を検討。今後、野生鳥獣被害の軽減のため、他都市の取り組み状況を参考にし、関係者に相談する中で、最も効果的な対策を取ることができるよう検討。	
	有害鳥獣駆除数	頭・羽		3,368	3,534	H18目標達成率			
指標	対前年度伸び率	%		-	104.9	70.7%			
	農林業の鳥獣被害額	万円		5,886	5,903	H18目標達成率			
指標	対前年度伸び率	%		-	99.7	67.8%			

市民協働	
備考	

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		森林造成事業				5		
事業期間		平成 2 年度 ~ 平成 23 年度		担当 部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500	
第8次基本 計画の位置 付け		5	熱気と活気にあふれ輝くまち		記入者	矢島	電話	1625
		2	やる気が活きる産業のまちをつくる		予算 科目	会計 一般会計		
		2	豊かな森林と山村をめざす		款・項		農林水産業費 農業費	
					大業		森林造成事業費	
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
		民有林(市有林、財産区有林及び私有林)			戦後植林された広大な人工林が、間伐などの手入れが十分に 行われており、森林の持つ公益的機能が十分に発揮された森林 とするものです。			
	事業内容 ・計画	内 容			基礎となる計画			
		1 市有林の整備 約9,100haの市有林を、森林組合に委託し、間伐等の事業を実施するもの です。						
		2 私有林の整備 私有林、財産区有林の山づくり事業に対し、国、県補助金の他に、市が、さらに 県査定経費の30%を上乗せ補助するものです。						
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等			
	森林整備の要望は大きく、新市における補 助事業の要望は特に大きいものがあります。		近隣市町村における高上げ状況(塩 尻市 20%、安曇野市 20%)		松本市森林造成事業補助 金交付要綱			
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値		
	実施事業量		ha	市有林+財産区有林+私有林		600		
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	項目	単位	実 績			見込	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	
		総事業費	万円	4,244.6	8,743.4	8,636.6	9,636.6	3 評価・分析 (CHECK) 本市は、長野県で最も広大な森林面 積を有しており、近年、地球温暖化の 防止対策が叫ばれている中で、森林整 備事業は、大変重要な施策です。
		事業費	万円	4,079.0	8,249.0	8,150.0	9,150.0	
		国・県補助金	万円	0.0	1,650.0	1,130.0	1,130.0	
		市(一般)	万円	4,079.0	6,599.0	7,020.0	8,020.0	
		市(起債)	万円					
		その他()	万円					
		減価償却費	万円					
		人件費	万円	165.6	494.4	486.6	486.6	
		正規職員	人	0.20	0.60	0.60	0.60	
		嘱託職員	人					
		臨時職員	人					
		合計	人	0.20	0.60	0.60	0.60	
	事業費に対する収入等の割合	%						
コスト	実施事業量	ha	288	494	504	620		
	単位当たりコスト	円	147,382	176,992	171,361	155,429		
	市民一人当たりコスト	円	204	383	378	422		
指標	実施事業量	ha	288	494	504	H18目標達成率		
	対前年度伸び率	%		171.5	102.0	84.0%		
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率		
市民協働								
備考								
				4 展開 (ACTION)		展開の方向		
						展開の手段		
						拡大	委託化	
						継続	市民参加	
						縮小	事業主体の見直し	
						廃止	手続きの見直し	
						休止	業務の見直し	
						統合	規模の見直し	
		木材生産機能の他に、公益的な機能 を有する森林に対する期待が高まる 中、森林の持つ機能を十分に発揮す ることができるよう、森林造成事業を積 極的に実施。						

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		林道沿線景観整備事業				6		
事業期間		平成 15 年度 ~ 平成 20 年度		担当 部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500	
第8次基本 計画の位置 付け		5	熱気と活気にあふれ輝くまち		記入者	矢島	電話	1625
		2	やる気が活きる産業のまちをつくる		予算 科目	会計 一般会計		
		2	豊かな森林と山村をめざす		款・項		農林水産業費 農業費	
					大事業		林道沿線景観整備事業費	
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
		林道美ヶ原線の景観整備			林道美ヶ原線は、浅間温泉と美ヶ原高原を結ぶ重要な観光道路です。この沿線の景観をボランティア団体主体の市民協働事業で整備し、価値ある観光資源とするものです。			
	事業内容 ・計画	内 容			基礎となる計画			
		1 事業主体 松本市及び「さくらともみじを植える会」 2 事業内容 (1) 旧林道敷地のアスファルト撤去及びレンゲツツジ植栽 (2) ボランティア団体主催による植樹作業での「さくら」と「もみじ」の苗木等の支給						
		市民要望(ニーズ)等の状況			国・県・民間等における類似事業		根拠法令等	
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値		
	植栽ボランティア参加者数		人	参加人数		1,000		
	植栽本数		本	植栽実績		9,200		
2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見 込		
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		
	(内 訳)	総 事 業 費	万円	340.8		621.1	751.1	
		事 業 費	万円	258.0		540.0	670.0	
		国・県補助金	万円			472.0	559.0	
		市(一般)	万円	258.0		68.0	111.0	
		市(起債)	万円					
		その他()	万円					
	(職 員 数)	減価償却費	万円					
		人 件 費	万円	82.8		81.1	81.1	
		正規職員	人	0.10		0.10	0.10	
		嘱託職員	人					
		臨時職員	人					
		合 計	人	0.10		0.10	0.10	
		事業費に対する収入等の割合	%					
コ ス ト	植栽ボランティア参加者数	人	140		600	350		
	単位当たりコスト	円	24,343		10,352	21,460		
	市民一人当たりコスト	円	16		27	33		
指 標	植栽ボランティア参加者数	人	140		600	H18目標達成率		
	対前年度伸び率	%		0.0	-	60.0%		
	植栽本数	本	2,000		1,955	H18目標達成率		
	対前年度伸び率	%		0.0	-	21.3%		
市民協働	市民からの提案で始まった事業であり、植栽行事の運営及びその後の維持管理についても、市民ボランティアにより実施するものです。							
備考								
				3 評価・分析 (CHECK)		4 展開 (ACTION)		
				評価項目		第1次評価	第2次評価	
				必要性		A	B	
				有効性		B	B	
				効率性		B	B	
				公平性		B	B	
				優先性		B	B	
				総合評価		B	B	
				展開の方向		展開の手段		
				拡大		委託化		
				継続		市民参加		
				縮小		事業主体の見直し		
				廃止		手続きの見直し		
				休止		業務の見直し		
				統合		規模の見直し		
				市民からの提案で始まった事業であり、植栽行事の運営及びその後の維持管理についても、市民ボランティアにより実施するものです。		平成20年度にレンゲツツジを植栽し、市の事業は終了。後は、「さくらともみじを植える会」が中心となり、下草刈等を実施。		

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		山火事被害跡地再生事業（大音寺山）					7					
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 15 年度 ~ 平成 23 年度				担当部課	農林部 耕地林務課	課コード 061500				
						記入者	矢島	電話 1625				
	第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち				予算科目	会計	一般会計			
		2	やる気が活きる産業のまちをつくる					款・項	農林水産業費 農業費			
	2	豊かな森林と山村をめざす				大事業						
事業の目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）							
	本郷地区 大音寺山				平成14年3月21日に発生した、県内で戦後2番目に大きな山火事被害跡地の中の大音寺山を、地元住民及び市民ボランティアの手により、再生させるものです。							
	内 容				基礎となる計画							
	山林火災跡地に植栽した苗木や再生してきた樹木の成長を助けるため、ニセアカシアの刈り払い作業を、地元住民及び市民ボランティアの手により、実施するものです。											
事業内容・計画	市民要望（ニーズ）等の状況				国・県・民間等における類似事業				根拠法令等			
	浅間温泉の地区住民から、災害に強い里山の再生要望が出ています。											
成果指標活動指標	指標名称				単位	指標の計算式等		H22目標値				
	ニセアカシア抜き取り作業の参加者数				人	ボランティア参加者延べ人数		200				
2 事業執行 (DO)	項 目	単 位	実 績			見 込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価		
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		H19年度	必要性	B	B	
	（内 訳）	総事業費	万円	41.4	41.2	40.6		40.6	有効性	A	B	
		事業費	国・県補助金	万円						効率性	B	B
			市（一般）	万円						公平性	B	B
			市（起債）	万円						優先性	B	B
			その他（ ）	万円						総合評価	B	B
			減価償却費	万円						浅間温泉に近い里山を、地域住民の手で再生させようと、平成15年度に本郷地区山づくり推進連絡協議会を組織し、これまで、年2～3回のニセアカシアの抜き取り作業を実施してきました。しかし、なかなか住民自らが率先して、山づくりをしようという意識は低い状況です。		
	人件費	万円	41.4	41.2	40.6	40.6		展開の方向	展開の手段			
	（職員数）	正規職員	人	0.05	0.05	0.05		0.05	拡大	委託化		
		嘱託職員	人						継続	市民参加		
		臨時職員	人						縮小	事業主体の見直し		
		合計	人	0.05	0.05	0.05		0.05	廃止	手続きの見直し		
	事業費に対する収入等の割合		%						休止	業務の見直し		
	コスト	ニセアカシア抜き取り作業の参加者数	件	600	250	200		200	統合	規模の見直し		
		単位当たりコスト	円	690	1,648	2,028		2,028	4 展開 (ACTION)			
		市民一人当たりコスト	円	2	2	2		2				
指標	ニセアカシア抜き取り作業の参加者数	人	600	250	200	H18目標達成率	現在、市が行っている事務局を、平成21年度には地域住民組織に移行し、今後継続した山づくり作業が実施できるような方向で検討。					
	対前年度伸び率	%		41.7	80.0	100.0%						
	対前年度伸び率	%		-	-							
市民協働	本郷地区の住民だけでなく、意欲ある市民が参加して、山づくり作業を継続して実施するような体制を整えていきたい。											
備考												

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		治山事業				8		
事業期間		平成 16 年度 ~ 平成 23 年度		担当 部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500	
				記入者	矢島	電話	1625	
第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち		予算 科目	会計	一般会計		
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる			款・項	農林水産業費 農業費		
	2	豊かな森林と山村をめざす			大業			
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を) 民有林		意図(どういう状態にしたいのか) 森林を起因とする災害の発生や、被害拡大を防止するため、 治山施設の適切な配備と、保安林の指定及び整備を進めます。				
	事業内容 ・計画	内 容			基礎となる計画			
森林の持つ、公益的機能の発揮の上で特に重要な森林については保安林に指定し、 それぞれの目的に沿った機能を確保するために、適切に管理・保全していくことが重 要です。このため、保安林の指定を促進するとともに、県施工による治山事業を実施 します。								
市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値	
	保安林面積		ha				14,600	
2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK) 4 展 開 (ACTION) 5 市民協働 備考	
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		
	(内 訳)	総事業費	万円	41.4	41.2	40.6		40.6
		事業費	万円					
		国・県補助金	万円					
		市(一般)	万円					
		市(起債)	万円					
		その他()	万円					
		減価償却費	万円					
	(職 員 数)	人件費	万円	41.4	41.2	40.6		40.6
		正規職員	人	0.05	0.05	0.05		0.05
		嘱託職員	人					
		臨時職員	人					
		合計	人	0.05	0.05	0.05		0.05
		事業費に対する収入等の割合	%					
コスト	新規保安林指定面積	ha	1,628	194	13			
	単位当たりコスト	円	254	2,124	31,192			
	市民一人当たりコスト	円	2	2	2	2		
指標	保安林面積	ha	14,339	14,533	14,546	H18目標達成率		
	対前年度伸び率	%		101.4	100.1	99.6%		
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率		
市民協働							5 今後、ますます森林の土砂流出防止 機能への期待が高まることが予想さ れ、計画的な保安林指定と治山施設 の設置を実施。	
備考								

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理事業	9
-------	-----------------	---

事業期間	平成 7 年度 ~ 平成 23 年度	担当部課	農林部 耕地林務課	課コード	061500
		記入者	矢島	電話	1625

第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	農林水産業費 農業費
	2	豊かな森林と山村をめざす		大業	美鈴湖もりの国周辺施設管理費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	一般市民等	意図(どういう状態にしたいのか)	森林における、野外レクリエーション活動の促進を図ることにより、森林・林業及び環境に関心を高める。
-------------	-------	-----------	-------	------------------	--

2 事業内容・計画	内容	基礎となる計画
	美鈴湖もりの国オートキャンプ場の入場者の増加を図るため、主に次の活動を行う。 1 美鈴湖もりの国管理委託業務 2 美鈴湖もりの国の施設整備	
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業
	オートキャンプ場やマレットゴルフ場の利用のほか、市民参加による「きのこの菌打ち体験」等のイベントを行っており、野外レクリエーションの場として、活用されています。	本市には「三城いこいの広場」、「奈川高ソメキャンプ場」等の類似施設があり、周辺市町村にも同様の施設があります。

成果指標活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	利用者数	人	オートキャンプ場+マレットゴルフ場利用者	8,000

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	329.8	323.4	452.1	1,182.2	評価・分析 (CHECK)	必要性	B	B
	事業費	万円	247.0	241.0	371.0	1,020.0		有効性	A	B
	(内訳)							効率性	A	B
	国・県補助金	万円						公平性	B	B
	市(一般)	万円	247.0	241.0	371.0	1,020.0		優先性	B	B
	市(起債)	万円						総合評価	B	B
	その他()	万円					アウトドアブームの衰退による利用者数の減少は、他の類似施設同様に厳しいものがありますが、近年、地球温暖化防止等、森林・自然環境への関心が高まってきました。			
	減価償却費	万円					4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
	人件費	万円	82.8	82.4	81.1	162.2		拡大	委託化	
	(職員数)							継続	市民参加	
正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.20	縮小		事業主体の見直し		
嘱託職員	人					廃止	手続きの見直し			
臨時職員	人					休止	業務の見直し			
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.20	統合	規模の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					平成20年度の指定管理者導入に向け、準備を進めるとともに、今後、イベント開催等を通じた利用者数の増加対策を推進。				
コスト	利用者数	人	6,670	7,063	6,318					
	単位当たりコスト	円	494	458	716					
	市民一人当たりコスト	円	16	14	20	52				
指標	利用者数	人	6,670	7,063	6,318	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		105.9	89.5	79.0%				
	対前年度伸び率	%			-	-				
市民協働										
備考										

平成19年度 施策 評価 票

政策の柱	熱気と活気にあふれ輝くまち	主要施策目標	やる気が活きる産業のまちをつくる
基本施策目標	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす		施策番号 5-2-3

主管課	商工観光部 商工課		関係 部課	商工観光部：商工課
記入者	清澤	電話 1711		

施策の概要	目的	対象
	個性と魅力あふれる商都をめざし、中心市街地をはじめ地域特性を活かした商店街づくりにより地域の活性化をめざすもの。	中小小売店及び商工団体
	現状	展開の方針
	平成18年度経済産業省が松本市に対して実施した「中心市街地活性化の取組みに対する診断・助言事業」によると、類似都市に比べても格段の魅力、活力があるが、市民生活に密着した商業・サービス機能に活力が見られないとの現状評価をされました。	各個店の経営基盤の強化、消費者ニーズの多様化に対応したこだわりのある商品やサービスの提供を支援するとともに、市民との協働による地域の特性を活かした商店街づくりを進めます。 また、秩序あるまちづくりを進めるために、大型店と個性的な小売店が集まった中心市街地をはじめとした各地区の中小小売店との共存共栄を図っていきます。

市民 効果指標	指標名	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H22年度	達成率	
	新規開業家賃補助件数（起業の促進）	件	48	54	37	60.0	61.7%	C
	レンタルボックス来店者数	人		7,000	8,300	8,500	97.6%	A
	商店街簡易診断・HP作成診断件数	件	12	18	12	20	60.0%	B

第8次 基本計画 目標値	商店街が行う活性化事業件数	件	21	20	25	30	83.3%	
	中心商店街ににぎわいがあると思う市民の割合	%	27.1		(27.1)	40.0	67.8%	C
	個性的な店舗が増えてきていると思う市民の割合	%	34.9		(34.9)	50.0	69.8%	C

市民 満足度 調査結果	項目	そう思う割合	ややそう思う割合	得点	順位
	中心商店街ににぎわいがある	5.5%	21.8%	2.54	68/83
	個性的な店舗が増えてきている	7.3%	27.6%	2.81	53/83

補足・説明等	
--------	--

主要事務事業の評価結果

No.	上段：事務事業名	実績及び見込（上段：事業費（万円）、下段：職員数）				評価結果		展開の方向	今後の方向性
	下段：担当課名	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	1次	2次		
1	まちづくり拠点事業補助金	394.0	446.0	446.0	446.0	A	A	継続	拠点のあり方・成果を検討し今後どのような展開か検討
	商工課	0.20	0.20	0.10	0.10				
2	小規模企業指導事業補助金	1,450.0	1,450.0	1,450.0	3,820.0	A	B	継続	小規模事業者への指導充実のため継続
	商工課	0.10	0.10	0.10	0.10				
3	商業アドバイザー事業委託料	40.0	40.0	40.0	40.0	B	B	継続	魅力ある個店づくりへの指導の充実のため成果を検証し継続
	商工課	0.05	0.05	0.05	0.05				
4	新規開業家賃補助事業	1,121.7	1,273.4	758.5	1,070.0	A	B	継続	今までの実績を評価し、効果ある方法を検討しながら継続
	商工課	0.20	0.20	0.20	0.20				
5	商業後継者育成事業	211.8	598.0	114.7	659.0	A	B	休止	5期10年間の活動実績を評価し今後の活動を検討
	商工課	0.20	0.20	0.20	0.20				
6	商店街まちおこし事業	443.8	451.6	586.5	646.0	A	B	継続	個性ある地域イベントを支援し、商店街の活性化を推進
	商工課	0.10	0.10	0.10	0.10				
7	商店街活動強化事業	312.3	248.5	296.1	323.0	A	B	継続	商店街が一体となり売上増につながる施策を促進
	商工課	0.10	0.10	0.10	0.10				
8	商店街賑わい創出事業		24.4	92.1	100.0	A	B	継続	歩行者天国を実施したイベントを開催し、誘客増を促進
	商工課		0.10	0.10	0.10				
9	共同施設設置事業	2,443.8	67.0	215.1	225.0	A	B	継続	商店街の環境整備を行い商店街の活性化を図るため実施
	商工課	0.10	0.10	0.10	0.10				
10	女性リーダー育成事業	110.8	13.1	7.3	167.0	B	B	縮小	全国サミットを契機に独立した活動としていくことを検討
	商工課	0.10	0.10	0.20	0.25				

区分	施策の事業展開							5-2-3
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H22以降	備考
各個店の経営基盤の強化	小規模企業指導事業補助金							B 継続
	商業アドバイザー事業委託料							B 継続
	新規開業家賃補助事業							B 継続
	新規開業支援利子補給事業							
	チャレンジショップ事業負担金							
	中小企業金融対策預託金							
	中小企業金融対策資金信用保証料							
	中小企業金融対策資金利子							
こだわりのある商品やサービス・情報の提供	小規模企業指導事業補助金							B 継続
	商業アドバイザー事業委託料							B 継続
	まちづくり拠点事業補助金							A 継続
各地区の中小小売店との共存共栄（イベント等の開催）	商店街まちおこし事業							B 継続
	商店街活動強化事業							B 継続
	商店街賑わい創出事業							B 継続
	共同施設設置事業							B 継続
	商店街共同駐車場運営事業補助金							
	市街地駐車場事業							
	中心市街地活性化事業負担金							
松本商店街連盟補助金								
ひとつづくりの推進	商業後継者育成事業							B 休止
	女性リーダー育成事業							
	中小企業能力開発学院補助金							B 廃止
評価ランク	評価理由		今後の方向性			市民委員会施策提言		
総合評価	<p>経済産業省が実施した「中心市街地活性化の取組みに対する診断・助言事業」では、豊かな自然、歴史・文化を取り入れたまちづくりは極めて高い評価、類似都市に比べても格段の魅力、活力がある、ただし、市民生活に密着した商業・サービス機能に活力が見られない、都市基盤整備において一定の水準に達しているが、施設整備型のまちづくりには終わりがなく、財政面からもこのまま継続して活性化を図っていくことは困難、今後一層、車に頼らない都市づくりを進めていく必要があると評価された。</p> <p>商店街の活性化のため、様々な助成事業がある。しかし、助成した効果が感覚的であり、一時的な活性策にしかならず、抜本的な解決に結びついていない面がある。</p>		<p>魅力ある商店街形成のため、地権者、店舗所有者、店子等さまざまな立場の人々が一体となって活性化に取り組むよう誘導していく必要がある。</p> <p>商店街の活性化には当事者の自助努力が不可欠であり、商業者の自立を養うために、価値観を180度転換させるようなショック療法による意識改革を図る。</p> <p>商店街には、関係団体との連携強化とリーダー的指導力の投入が必要であり、消費者ニーズを適確に捉えた商業活動を支援する。</p> <p>様々な支援策については、固定客の定着具合、日常的な売上の増加傾向等事業効果を科学的に検証し、効果の少ないものは廃止または見直しを検討する。</p>			<p>魅力的な商店街づくりのために、行政は種々な施策をほどこしていますが、残念ながら低迷、低落傾向にあるように思われます。一つには、商業当事者の自助努力が不足しているように感じられること、二つめには、空店舗所有者の商店街形成への関心が薄れているという現状がありそうです。こついで、抜本的な見直しが必要であると考えられますが、今日の状況を見ると、諸施策を継続していくしかないとも言えます。現在、市民満足度が低くなっていることをふまえつつ、諸施策を遂行していくことが必要だと思います。一方で、駐車場整備等のハード面と、サービスやイベントなどのソフト面にも力を入れていくことが必要になると思います。</p>		

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		まちづくり拠点事業負担金				1					
事業期間		平成 16 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000					
			記入者	小西	電話	1712					
第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計						
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	商工費	商工費					
	3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす		大業	商業振興事業費						
1 概要 (PLAN)	事業の目的		交付先 松本商工会議所				補助金・負担金等の目的、効果 中心商店街の空き店舗を活用した「まちづくり拠点」の運営を支援し、中心市街地への集客、商店街のにぎわい創出、まちづくりのリーダー育成によってまちの活性化を図る。				
	事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準 H18年当初予算編成時の事業費892万円の1/2がベース				交付先の具体的な活動内容 1 中心市街地活性化事業 (1)まち案内所 (2)課外活動やりたい人ネットワーク事業 (3)まちの賑わい創出事業 (4)情報発信 2 レンタルボックス事業 (1)レンタルボックス事業 (2)スモールスケールビジネス支援事業 3 その他 大学のアウトキャンパスなど他団体との連携事業				
			市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
			松本市商工業振興審議会からの提言、松本TMOワークショップからの意見								
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値				
	レンタルボックス来店者数		人				8,500				
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	総事業費	万円	559.6	610.8	527.1	527.1	補助金等の 性格 3 評価・分析 (CHECK)	交付先区分	事業者等	
		事業費	万円	394.0	446.0	446.0	446.0		種類別	事業費助成	
		国・県補助金	万円						性質	義務的	
		市（一般）	万円	394.0	446.0	446.0	446.0		継続性	有	
		人件費	万円	165.6	164.8	81.1	81.1		終期設定	平成23年度以降	
		正規職員	人	0.20	0.20	0.10	0.10		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	A	A
	臨時職員	人					有効性	A	A		
	合計	人	0.20	0.20	0.10	0.10	効率性	B	B		
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円	394.0	766.0	842.0	914.0	公平性	A	A	
		市補助金等	万円	394.0	446.0	446.0	446.0	優先性	B	B	
		市以外の補助金等	万円					総合評価	A	A	
		その他	万円		320.0	396.0	468.0	ふらっとPLAZAとして、活動も充実してきている。レンタルボックスの来店者数は伸びてきている。			
	コスト	単位当たりコスト	円					4 展開 (ACTION)	展開の方向		
		市民一人当たりコスト	円	27	27	23	23		拡大		
指標	レンタルボックス来店者数	人		7,000	8,300	H18目標達成率	継続		ふらっとPLAZAのあり方、成果を検討し、今後どのように展開していくか検討		
	対前年度伸び率	%		-	118.6	97.6%	縮小				
	対前年度伸び率	%		-	-		廃止				
備考								休止			
								統合			

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		小規模企業指導事業補助金				2					
事業期間		年度 ~ 平成 年度		担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000				
				記入者	小西	電話	1712				
第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち			予算 科目	会計	一般会計				
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる				款・項	商工費 商工費				
	3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす				大事業	中小企業振興費				
1 概要 (PLAN)	事業の目的		交付先 松本商工会議所		補助金・負担金等の目的、効果 小規模企業者に対して巡回指導を中心とした各種診断、経営指導、講習会等を実施し、企業の体質改善及び経営の健全化を図る。						
	事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準 定額1,450万円		交付先の具体的な活動内容 17実績 18実績 ・経営指導員の指導 6,100件 6,430件 ・講習会等開催指導 2,790人 2,993人 ・金融指導 102件 129件 ・事務の代行(社会保険等) 399件 397件						
			市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等 松本市補助金交付規則				
	成果指標 活動指標		指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値			
		経営指導員の指導件数		件			6,500				
		講習会等開催指導人数		人			3,000				
2 事業執行 (DO)	項目		単位	実績			見込	補助 金等 の 性 格 3 評 価 ・ 分 析 (C H E C K) 4 展 開 (A C T I O N)			
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		交付先区分	事業者等	
	事業費 (内訳)	総事業費		万円	1,532.8	1,532.4	1,531.1		3,901.1	種類別	事業費助成
		事業費		万円	1,450.0	1,450.0	1,450.0		3,820.0	性質	義務的
		国・県補助金		万円						継続性	有
		市(一般)		万円	1,450.0	1,450.0	1,450.0		3,820.0	終期設定	無
	事業費 (職員数)	人件費		万円	82.8	82.4	81.1		81.1	評価項目	第1次評価 第2次評価
		正規職員		人	0.10	0.10	0.10		0.10	必要性	A A
		嘱託職員		人						有効性	A B
		臨時職員		人						効率性	B B
	合計		人	0.10	0.10	0.10	0.10		公平性	A A	
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費		万円	14,946.2	16,382.3	16,536.1		20,945.1	優先性	B B
		市補助金等		万円	1,450.0	1,450.0	1,450.0		3,820.0	総合評価	A B
		市以外の補助金等		万円	10,746.2	9,957.2	10,559.8		13,675.1	小規模起業者の経営健全化が図られている	
		その他		万円	2,750.0	4,975.1	4,526.3		3,450.0		
市の補助率・負担率		%	9.7	8.9	8.8	18.2					
コスト	指導件数当たり			10,062	8,890	9,423					
	単位当たりコスト		円	1,523	1,724	1,625					
	市民一人当たりコスト		円	74	67	67	171	展開の方向			
指標	経営指導員の指導件数		件	6,358	6,100	6,430	H18目標達成率	拡大	小規模事業者への指導充実のため継続		
	対前年度伸び率		%		95.9	105.4	98.9%	継続			
	講習会等開催指導人数		人	3,704	2,790	2,993	H18目標達成率	縮小			
	対前年度伸び率		%		75.3	107.3	99.8%	廃止			
							休止				
							統合				
備考											

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		商業アドバイザー事業委託料				3					
事業期間		平成 11 年度 ~ 平成 年度		担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000				
				記入者	小西	電話	1712				
第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち			予算 科目	会計	一般会計				
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる				款・項	商工費 商工費				
	3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす				大業	こだわりのある商店街づくり事業				
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を) 中小事業者(個店)			意図(どういう状態にしたいのか) 各個店に対する実践的な指導・助言により、事業者の抱える 問題点の解決を図り、店舗の魅力アップ及び集客力のアップを 促進する。						
	事業内容 ・計画	内 容 各分野の専門家をアドバイザーとして、実践的な指導・助言を行うもの 商店街簡易診断・・・コストをかけない手軽で効果的な魅力ある店づくり ホームページ診断・・・売れるためのホームページづくり			基礎となる計画						
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値					
	商店街簡易診断		件			10					
	ホームページ作成診断		件			10					
2 事業執行 (DO)	事業費 (内 訳) (職 員 数)	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	81.4	81.2	80.6	80.6		必要性	B	B
		事業費	万円	40.0	40.0	40.0	40.0		有効性	A	B
		国・県補助金	万円						効率性	B	B
		市(一般)	万円	40.0	40.0	40.0	40.0		公平性	A	B
		市(起債)	万円						優先性	B	B
		他(市補助金)	万円						総合評価	B	B
		減価償却費	万円						個店への実践的な指導・助言が図ら れている		
		人件費	万円	41.4	41.2	40.6	40.6				
	正規職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05					
	嘱託職員	人									
	臨時職員	人									
	合計	人	0.05	0.05	0.05	0.05					
	事業費に対する収入等の割合	%									
コスト	診断件数当たり		12	18	12						
	単位当たりコスト	円	67,833	45,111	67,125						
	市民一人当たりコスト	円	4	4	4	4					
指標	商店街簡易診断	件	6	6	6	H18目標達成率					
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	60.0%					
	ホームページ作成診断	件	6	12	6	H18目標達成率					
	対前年度伸び率	%		200.0	50.0	60.0%					
市民協働											
備考											
				4 展 開 (ACTION)		展開の方向		展開の手段			
						拡大		委託化			
						継続		市民参加			
						縮小		事業主体の見直し			
						廃止		手続きの見直し			
						休止		業務の見直し			
						統合		規模の見直し			
										魅力ある個店づくりへの指導の充実 のため、成果を検証して継続	

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		新規開業家賃補助事業				4						
事業期間		平成 15 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000						
			記入者	百瀬	電話	1712						
第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計							
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	商工費	商工費						
	3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす		大事業	創業者支援事業費							
1 概要 (PLAN)	事業の目的		交付先		補助金・負担金等の目的、効果							
	松本市に居住している開業者		松本市に居住している開業者		松本市の商業の活動を増進するため、新規開業者等の起業を支援							
	事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準		交付先の具体的な活動内容							
	家賃の3/10以内(上限8万円/月額)一年間を限度		新規開業家賃補助を受けている間に、経営の安定を図り、自立した事業運営を行う。									
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
		一年間の補助でなく複数年の補助				松本市創業支援事業補助金交付要綱						
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値						
	家賃補助件数		件			60						
	開業3年目の継続率		%	開業3年目に継続している店舗数/補助店舗数								
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	項目	単位	実績			見込	補助金等の 性格	交付先区分	個人		
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			種類別	事業費助成	
		総事業費	万円	1,287.3	1,438.2	920.7	1,232.2			性質	義務的	
		事業費	万円	1,121.7	1,273.4	758.5	1,070.0			継続性	有	
		国・県補助金	万円							終期設定	無	
		市(一般)	万円	1,121.7	1,273.4	758.5	1,070.0			評価項目	第1次評価	第2次評価
		人件費	万円	165.6	164.8	162.2	162.2			必要性	A	A
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円	1,121.7	1,273.4	758.5	1,070.0	3 評価・分析 (CHECK)	有効性	A	B	
		市補助金等	万円	1,121.7	1,273.4	758.5	1,070.0		効率性	A	B	
		市以外の補助金等	万円						公平性	B	B	
		その他	万円						優先性	A	B	
	市の補助率・負担率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		総合評価	A	B		
	コスト	家賃補助件数当たり	件	48	54	37		4 展開 (ACTION)	新規開業者が開業しやすいように、支援を拡大(早期退職者や段階の世代の起業支援)			
		単位当たりコスト	円	268,188	266,333	248,838			展開の方向	拡大		新規開業者への起業支援のために、今までの実績を評価し、効果ある方法を検討しながら継続。
		市民一人当たりコスト	円	62	63	40	54			継続		
指標	家賃補助件数	件	48	54	37	H18目標達成率	縮小					
	対前年度伸び率	%		112.5	68.5	61.7%	廃止					
備考	開業3年目の継続率	%			93.1	H18目標達成率	休止					
	対前年度伸び率	%		-	-		統合					

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		商業後継者育成事業				5					
事業期間		平成 10 年度 ~ 平成 19 年度		担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000				
第8次基本 計画の位置 付け		5 熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目		会計 一般会計	記入者	百瀬				
		2 やる気が活きる産業のまちをつくる			款・項 商工費 商工費	電話	1712				
		3 地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす			大事業 中小企業振興費						
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	交付先 松本商科大学実行委員会		補助金・負担金等の目的、効果 商業後継者の育成を図る							
	事業内容 ・計画	補助金・負担金等の算定基準		交付先の具体的な活動内容 松本の商業現況を理解して、21世紀に対応できる商業後継者となり、これからの商業活動及び街づくり等地域に根ざした活動のリーダーとしての資質を身につける。							
		市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
		商科大学関係者や商店街の方々とのネットワークづくり									
	成果指標 活動指標	指標名称 商科大学卒業生数		単位 人	指標の計算式等		H22目標値 20				
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	総事業費	万円	377.4	762.8	276.9	821.2	補助金等の 性格 3 評価・分析 (CHECK)	交付先区分	市民団体等	
		事業費	万円	211.8	598.0	114.7	659.0		種類別	運営費助成	
		国・県補助金	万円						性質	義務的	
		市（一般）	万円	211.8	598.0	114.7	659.0		継続性	有	
		人件費	万円	165.6	164.8	162.2	162.2		終期設定	平成19年度	
		正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	A	B
	臨時職員	人					有効性	A	A		
	合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	効率性	B	B		
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円	294.3	1,396.0	202.0	1,050.0	公平性	A	B	
		市補助金等	万円	211.8	598.0	114.7	659.0	優先性	A	C	
		市以外の補助金等	万円				105.0	総合評価	A	B	
		その他	万円	82.5	798.0	87.3	286.0	平成19年度で5期10年となるが、過去の卒業生は地元商店街等で活躍している。			
	市の補助率・負担率	%	72.0	42.8	56.8	62.8					
	コスト	単位当たりコスト	円					展開の方向			
市民一人当たりコスト		円	18	33	12	36	拡大		5期10年間の活動実績を評価し、今後の活動を検討		
指標	商科大学卒業生数	人	18	18	21	H18目標達成率	継続				
	対前年度伸び率	%		100.0	116.7	105.0%	縮小				
	対前年度伸び率	%		-	-		廃止				
備考								休止			
								統合			

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		商店街まちおこし事業				6					
事業期間		平成 3 年度 ~ 平成 年度		担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000				
第8次基本 計画の位置 付け		5	熱気と活気にあふれ輝くまち		記入者	丸山	電話	1713			
		2	やる気が活きる産業のまちをつくる		予算 科目	会計 一般会計					
		3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす		款・項	商工費 商工費					
					大業	こだわりのある商店街づくり事業費					
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	交付先			補助金・負担金等の目的、効果						
		<ul style="list-style-type: none"> 商店街振興組合法に規定する商店街振興組合 中小企業等協同組合法に規定する事業協同組合で組合員の20人以上が小売商業又はサービス業に属する事業を営むもの 小売商業又はサービス業に属する事業を営む者をもって組織する団体で、市長が認めたもの 			個性ある誘客イベント等の開催に要する経費を補助し、商店街の活性化を図る						
	事業内容 ・計画	補助金・負担金等の算定基準			交付先の具体的な活動内容						
		個性ある誘客イベント等の開催に要する経費(謝礼・出演料、広告宣伝費、会場費、装飾費、原材料費等。ただし、飲食費は除く。)の1/3以内 限度額100万円 同一事業は連続10年が限度									
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値					
	誘客イベント数		件			10					
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	総事業費	万円	526.6	534.0	667.6	727.1	補助 金等 の 性 格	交付先区分	事業者等	
		事業費	万円	443.8	451.6	586.5	646.0		種類別	事業費助成	
		国・県補助金	万円						性質	義務的	
		市(一般)	万円	443.8	451.6	586.5	646.0		継続性	有	
		人件費	万円	82.8	82.4	81.1	81.1		終期設定	無	
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	A	A
	交付先の内容 (内訳)	市補助金等	万円	443.8	451.6	586.5	646.0	3 評 価 ・ 分 析 (C H E C K)	有効性	A	B
		市以外の補助金等	万円						効率性	A	B
		その他	万円	1,257.3	1,325.9	1,373.8	1,420.0		公平性	A	A
		市の補助率・負担率	%	26.1	25.4	29.9	31.3		優先性	B	B
	コスト	誘客イベント数	件	10	10	10		4 展 開 (A C T I O N)	総合評価	A	B
		単位当たりコスト	円	526,600	534,000	667,600			一万人を越えた集客イベントも実施され、商店街の活性化に繋がったといえる。		
		市民一人当たりコスト	円	25	23	29	32		展開の方向	個性ある地域イベントを支援し商店街の活性化を図るが、費用対効果を検証して実施。	
	指標	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	H18目標達成率	拡大			
対前年度伸び率		%		-	-	H18目標達成率	継続				
備考							4 展 開 (A C T I O N)	縮小			
								廃止			
								休止			
								統合			

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		商店街活動強化事業				7						
1 概要 (PLAN)	事業期間	年度 ~ 平成 年度		担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000					
				記入者	丸山	電話	1713					
	第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち		予算 科目	会計	一般会計					
		2	やる気が活きる産業のまちをつくる			款・項	商工費	商工費				
		3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす			大業	こだわりのある商店街づくり事業費					
	事業の 目的	交付先			補助金・負担金等の目的、効果							
		<ul style="list-style-type: none"> 商店街振興組合法に規定する商店街振興組合 中小企業等協同組合法に規定する事業協同組合で組合員の20人以上が小売商業又はサービス業に属する事業を営むもの 小売商業又はサービス業に属する事業を営む者をもって組織する団体で、市長が認めたもの 			商店街が共同で行う販売促進活動に要する経費を補助し、商店街の活性化を図る							
	事業内容 ・計画	補助金・負担金等の算定基準			交付先の具体的な活動内容							
		商店街が共同で行う販売促進活動に要する経費(装飾費、印刷費、ユニフォーム、広告宣伝費等)及び商店街全体の統一したイメージを形成することに寄与する企画等に要する経費の1/3以内 限度額100万円 同一事業は連続5年が限度										
		市民要望(ニーズ)等の状況			国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
					松本市商店街活動振興事業補助金交付要綱							
成果指標 活動指標	指標名称			単位	指標の計算式等		H22目標値					
	共同販売活動件数			件			11					
2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込		補助金等の 性格	交付先区分 種類別	事業者等		
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H19年度			事業費助成		
	事業費 (内訳)	総事業費	万円	395.1	330.9	377.2	404.1	3 評価・分析 (CHECK)	性質	義務的		
		事業費	万円	312.3	248.5	296.1	323.0		継続性	有		
		国・県補助金	万円						終期設定	無		
		市(一般)	万円	312.3	248.5	296.1	323.0		評価項目	第1次評価	第2次評価	
		人件費	万円	82.8	82.4	81.1	81.1		必要性	A	B	
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		有効性	A	B	
		嘱託職員	人						効率性	A	B	
	臨時職員	人					公平性	A	A			
	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	優先性	B	B			
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円	970.8	774.5	941.5	1,031.0	4 展開 (ACTION)	総合評価	A	B	
		市補助金等	万円	312.3	248.5	296.1	323.0		話題性もあり、市内外からの問い合わせ等が増えるなど、商店街のプロモーション事業として非常に効果的である。	展開の方向		
		市以外の補助金等	万円							拡大		
		その他	万円	658.5	526.0	645.4	708.0			継続		
	市の補助率・負担率	%	32.2	32.1	31.4	31.3	縮小					
	コスト	共同販売活動件数	件	12	9	12		4 展開 (ACTION)	廃止			
		単位当たりコスト	円	329,250	367,667	314,333			休止			
指標	共同販売活動件数	件	12	9	12	H18目標達成率	4 展開 (ACTION)	統合				
	対前年度伸び率	%		75.0	133.3	109.1%		商店街が一体となり売上増につながる施策の促進を図る。 事業の費用対効果を検証して実施。				
備考												

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名	商店街賑わい創出事業	8
-------	------------	---

事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000
		記入者	丸山	電話	1713

第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	商工費 商工費
	3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす		大業	こだわりのある商店街づくり事業費

1 概要 (PLAN)	事業の 目的	交付先 ・商店街振興組合法に規定する商店街振興組合 ・中小企業等協同組合法に規定する事業協同組合で 組合員の20人以上が小売商業又はサービス業に属 する事業を営むもの ・小売商業又はサービス業に属する事業を営む者 をもって組織する団体で、市長が認めたもの	補助金・負担金等の目的、効果 商店街に接する道路で歩行者天国を実施して開催する誘客イベ ントに要する経費の補助し、商店街の活性化を図る		
	事業内容 ・計画	補助金・負担金等の算定基準	交付先の具体的な活動内容		
		商店街に接する道路で歩行者天国を実施して 開催する誘客イベントに要する経費(謝礼・出 演料、広告宣伝費、会場費、装飾費、原材料 費。ただし、飲食費は除く。)の1/2以内 限度額 50万円			
		市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等 松本市商店街活動振興事業 補助金交付要綱	
	成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	誘客イベント数	件		2	

2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見込 H19年度	補助 金等 の性 格	交付先区分		事業者等	
			H16年度	H17年度	H18年度			種類別	事業費助成	性質	義務的
事業費 (内訳) (職員数)	総事業費	万円		106.8	173.2	181.1	3	評価項目	第1次評価	第2次評価	歩行者天国実施によるイベントのため、新聞等マスメディアが取り上げるなど話題性があり、商店街への誘客に繋がったといえる。
	事業費	万円		24.4	92.1	100.0		必要性	A	B	
	国・県補助金	万円						有効性	A	B	
	市(一般)	万円		24.4	92.1	100.0		効率性	A	B	
	人件費	万円		82.4	81.1	81.1		公平性	A	A	
	正規職員	人		0.10	0.10	0.10		優先性	B	B	
	嘱託職員	人						総合評価	A	B	
臨時職員	人										
合計	人		0.10	0.10	0.10						
交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円		48.9	190.0	300.0	4	展開の方向	拡大	歩行者天国を実施し たイベントを開催し、 より多くの誘客を図る ため実施。 ただし、イベント数 が少ないため、費用対 効果を検証。	
	市補助金等	万円		24.4	92.1	100.0		継続			
	市以外の補助金等	万円						縮小			
	その他	万円		24.5	97.9	200.0		廃止			
コスト	市の補助率・負担率	%		49.9	48.5	33.3	休止				
	誘客イベント数	件		1	3		統合				
	単位当たりコスト	円		1,068,000	577,333						
指標	市民一人当たりコスト	円		5	8	8					
	誘客イベント数	件		1	3	H18目標達成率					
	対前年度伸び率	%		-	300.0	150.0%					
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率					
備考											

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名	共同施設設置事業	9
-------	----------	---

事業期間	年度 ~ 平成 年度	担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000
		記入者	丸山	電話	1713

第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	商工費 商工費
	3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす		大業	商業振興事業費

1 概要 (PLAN)	事業の 目的	交付先 中小企業団体の組織に関する法律又は商店街振興組合法に規定する団体及び市長が特に認める団体	補助金・負担金等の目的、効果 街路灯等の商店街活性化に寄与すると認められる共同施設の設置に要する経費の補助し、商店街の活性化を図る		
	事業内容 ・計画	補助金・負担金等の算定基準	交付先の具体的な活動内容		
		カラー舗装、アーケード、街路灯、組合会館、駐輪場、駐車場、その他特に市長が認める共同施設のうち公共的要素が高い施設の設置に要する経費の1/3以内 限度額2000万円（商店街団体事業は4000万円）			
		市民要望（ニーズ）等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等	
	成果指標 活動指標	指標名称 共同施設設置数	単位 件	指標の計算式等	H22目標値 3

2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	総事業費	万円	2,526.6	149.4	296.2	306.1	補助金等の 性格 3 評価・分析 (CHECK)	交付先区分	事業者等	
		事業費	万円	2,443.8	67.0	215.1	225.0		種類別	事業費助成	
		国・県補助金	万円	849.4					性質	義務的	
		市（一般）	万円	1,594.4	67.0	215.1	225.0		継続性	有	
		人件費	万円	82.8	82.4	81.1	81.1		終期設定	無	
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	A	A
		臨時職員	人						有効性	A	B
		合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10		効率性	A	B
		公平性	A	A							
	優先性	B	B								
	総合評価	A	B								
	共同施設設置は商店街をイメージアップさせ活性化させるだけでなく、来訪者の利便性の向上についても効果的である。										
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円	7,417.3	258.3	645.9	675.0	4 展開 (ACTION)	展開の方向	商店街の環境整備を行い、商店街の活性化を図るため実施。	
		市補助金等	万円	2,443.8	67.0	215.1	225.0		拡大		
市以外の補助金等		万円	730.9				継続				
その他	万円	4,242.6	191.3	430.8	450.0	縮小					
市の補助率・負担率	%	32.9	25.9	33.3	33.3	廃止					
コスト	共同施設設置数	件	3	2	5	H18目標達成率	休止				
	単位当たりコスト	円	8,422,000	747,000	592,400	H18目標達成率	統合				
指標	共同施設設置数	件	3	2	5	H18目標達成率					
	対前年度伸び率	%		66.7	250.0	166.7%					
備考	対前年度伸び率	%		-	-						

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	女性リーダー育成事業	10
-------	------------	----

事業期間	平成 11 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	商工観光部 商工課	課コード	071000
		記入者	小林	電話	1711

第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	商工費 商工業振興費
	3	地域の特性を活かした魅力的な商店街をめざす		大事業	商店街女性リーダー育成事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象 (誰を・何を) 松本おかみさん会	意図 (どういう状態にしたいのか) 女性の感性を活かした魅力ある店づくりや街づくりを行うために、情報交換や相互交流を深める団体として活動ができるようにする。
-------------	-------	------------------------	---

2 事業内容・計画	内容	基礎となる計画
	毎月1回程度の研修会、視察研修や情報交換を定期的に行っている。 H19.6.6~7の「全国商店街おかみさん交流サミットin信州まつもと」の開催により、得られた知識や全国のおかみさんとのネットワークの輪(和)を広げ、「ずく」を出して商店街の活性化を図る活動を展開。	
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業 根拠法令等
	中心商店街連盟の女性会員との懇話会から街づくり、店づくりについて勉強会を開催するため「松本おかみさん会」が発足。	NPO法人全国商店街おかみさん会

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	おかみさん会加入者数	人		40.0

2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	193.6	95.5	169.5	369.8		必要性	A	B
		事業費	万円	110.8	13.1	7.3	167.0		有効性	B	B
		国・県補助金	万円						効率性	C	C
		市(一般)	万円	110.8	13.1	7.3	167.0		公平性	B	B
		市(起債)	万円						優先性	B	B
		その他()	万円						総合評価	B	B
		減価償却費	万円						合併した4地域の商店街のおかみさん達と交流を深め、会員を増やし、女性の感性、センスを活かした商店街づくりを進めていく。		
		人件費	万円	82.8	82.4	162.2	202.8		展開の方向	展開の手段	
		正規職員	人	0.10	0.10	0.20	0.25		拡大	委託化	
		嘱託職員	人						継続	市民参加	
		臨時職員	人						縮小	事業主体の見直し	
		合計	人	0.10	0.10	0.20	0.25		廃止	手続きの見直し	
		事業費に対する収入等の割合	%						休止	業務の見直し	

コスト	おかみさん会加入者数	人	34	32	36	34	4 展開 (ACTION)	統合	規模の見直し
	単位当たりコスト	円	56,941	29,844	47,083	108,750		全国サミットを契機に、独立した活動としていくことを検討。	
	市民一人当たりコスト	円	9	4	7	16			
	対前年度伸び率	%		94.1	112.5	90.0%			
指標	対前年度伸び率	%		-	-	-			

市民協働	
備考	

区分	施策の事業展開							5-2-6
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H22以降	備考
公設地方卸売市場の施設整備と運営の充実	市場運営協議会事務(公設地方卸売市場)							B 継続
	全国公設地方卸売市場協議会業務(公設地方卸売市場)							B 継続
	市場環境整備事業(公設地方卸売市場)							B 継続
	市場内清掃業務(公設地方卸売市場)							B 継続
	市場施設修繕業務(公設地方卸売市場)							A 継続
	市場内整備工事(公設地方卸売市場)							A 継続
	市場トイレ改修工事							
	青果付属棟保冷库冷却設備更新工事							
	市場まつり事業(公設地方卸売市場)							B 継続
	安全・安心な地域産食品の流通	地産地消費推進事業(農政課)						
地産地消の推進(農政課)							A 継続	
農産物消費拡大対策事業負担金(農政課)								
情報ネットワークの構築、流通機能の高度化、効率化の推進	eマーケットプレイス構築(~H16)~バーチャルモールシステム構築事業(H17~H19)(商工課)							
受注拡大、販路拡大の推進	まつもと広域工業まつり(商工課)							
	ビジネススタイアップ商談会事業(商工課)							
	製造品等販路拡大支援事業(商工課)							
総合評価	評価ランク	評価理由		今後の方向性			市民委員会施策提言	
		<p>公設地方卸売市場については、全体的に老朽化してきている施設、設備の更新及び事業など計画的に進めており、市場の安全、効率的な運営に繋がっている。</p> <p>地域産の食物等は、地産地消を進めることにより、直販所やスーパーなどの専用コーナーなどで容易に手に入るようになってきている。</p> <p>水産・食肉・青果等は公設地方卸売市場で運営されているが、それ以外の商品の流通基盤については、行政側の関与はほとんど少ない。</p>		<p>地方卸売市場については、全国的に運営方法の見直しの動きが出てきており、平成21年度に予定されている卸売手数料の自由化がその動きを更に加速すると想定される。今後は、運営方法の見直しの研究を進めていく。</p> <p>地域産の食物等の流通については、地産地消の推進や、商品のブランド化による販路拡大を進めていく。また、親の世代に対して地産地消の意義の浸透を図っていく。</p> <p>新たな販路拡大方法として、インターネットによる販売、通信販売等の検討を進める。</p>			<p>ここでは、公設地方卸売市場と地産地消の2本柱になっています。</p> <p>民営化を望む意見もありますが、安全な食品の提供に果たす公設地方卸売市場の役割は、大なるものと思います。そこで、市民の食に対する関心を高め、より身近な存在として理解を広げるため、市場まつりの開催を増やし、旬の食材を入手できる機会を広げていただきたいと思います。</p> <p>地産地消や食育を進めていく上で、学校給食での地元産の農畜産物の使用を進めていただくことは、引き続きお願いいたします。その上で学校給食にとどまらず家庭での食事が重要な位置を占めますので、親の世代に対して地産地消の意義の更なる浸透を図り、地産地消を促進していただきたいと思います。</p>	

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	市場運営協議会事務	1
-------	-----------	---

事業期間	平成 2 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	農林部 公設地方卸売市場 記入者 堀内	課コード	062500
第8次基本 計画の位置 付け	5 熱気と活気にあふれ輝くまち 2 やる気が活きる産業のまちをつくる 6 多彩な流通基盤の整備をめざす	予算 科目	会計 公設地方卸売市場特別会計 款・項 卸売市場費 総務管理費 大業 一般管理費	電話	1701

1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を) 市場内業者、市場利用者	意図(どういう状態にしたいのか) 市場の適正かつ円滑な運営を図る。 市場の活性化、市場運営方法の研究を進める。
	事業内容 ・計画	内 容	
		委員18人以内で組織、必要な事項を協議します。 委員は、 市議会議員 生鮮食料品の生産、流通、消費に関して知識経験を有する者 関係行政機関の職員等 毎年度テーマを決めて検討、現在は「市場活性化」を基本テーマにあらゆる角度から 研究しています。	
		基礎となる計画	
	成果指標 活動指標	指標名称 開催回数(現在年3回開催)	単位 回

項 目	単 位	実 績			見 込		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H16年度		H17年度	H18年度	H19年度
2 事業執行 (DO)	総事業費	万円	97.8	101.4	115.1	114.1	市場経由率の低下、需要の減退、価格の低迷等市場を取巻く環境が厳しさを増す中で市場の円滑な運営や市場活性化は最優先の課題であり、その調査研究をしています。	必要性	AA	A
	事業費	万円	15.0	19.0	34.0	33.0		有効性	AA	B
	(内訳)							効率性	A	B
	国・県補助金	万円						公平性	AA	B
	市(一般)	万円	15.0	19.0	34.0	33.0		優先性	AA	B
	市(起債)	万円						総合評価	AA	B
	その他()	万円					展開の方向			展開の手段
	減価償却費	万円					拡大		委託化	
	人件費	万円	82.8	82.4	81.1	81.1	継続		市民参加	
	(職員数)						縮小		事業主体の見直し	
正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	廃止		手続きの見直し		
嘱託職員	人					休止		業務の見直し		
臨時職員	人					統合		規模の見直し		
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	市場の円滑な運営や活性化は重要な課題であり、常に研究、検討をしていく必要があり、組織を継続。				
事業費に対する収入等の割合	%									
コスト	開催回数	回	2	2	3					
	単位当たりコスト	円	489,000	507,000	383,667					
	市民一人当たりコスト	円	5	4	5	5				
指標	開催回数(現在年3回開催)	回	2	2	3	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		100.0	150.0	100.0%				
	対前年度伸び率	%			-					
市民協働										
備考										

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名	市場環境整備事業（松本市公設地方卸売市場協議会負担金）	2
-------	-----------------------------	---

		担当 部課	農林部 公設地方卸売市場	課コード	062500							
		記入者	堀内	電話	1701							
事業期間	年度	平成		年度								
	第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち		予算 科目							
		2	やる気が活きる産業のまちをつくる									
	6	多彩な流通基盤の整備をめざす										
1 概要 (PLAN)	事業の目的	交付先 松本市公設地方卸売市場協議会	補助金・負担金等の目的、効果 市場内の一斉清掃、不法投棄の監視及び不法投棄品の処理、ねずみ駆除等環境美化に関する事業の費用を一部を負担している。清潔な市場を守ることで、市民に安心・安全な食品を供給できる。									
	事業内容・計画	補助金・負担金等の算定基準	交付先の具体的な活動内容 市場内の環境美化に関する事業 一斉清掃 不法投棄の監視及び不法投棄品の処理 ねずみ駆除									
		定額年間50万円										
		市民要望（ニーズ）等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等								
成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等		H22目標値							
	一斉清掃の回数	回			12							
	ねずみ駆除の回数（現在月1回実施）	回			12							
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	項目	単位	実績			見込	補助金等の 性格	交付先区分	事業者等		
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			種類別	事業費助成	
		総事業費	万円	117.9	117.7	117.2	117.2			性質	義務的	
		事業費	万円	50.0	50.0	50.0	50.0			継続性	有	
		国・県補助金	万円							終期設定	無	
		市（一般）	万円	50.0	50.0	50.0	50.0			評価項目	第1次評価	第2次評価
		人件費	万円	67.9	67.7	67.2	67.2			必要性	A	A
	交付先の内容 (内訳)	コスト	総事業費	万円	246.0	161.0	176.0	174.0	3 評価・分析 (CHECK)	有効性	A	B
			市補助金等	万円	50.0	50.0	50.0	50.0		効率性	A	B
			市以外の補助金等	万円	149.0	50.0	50.0	50.0		公平性	A	B
			その他	万円	47.0	61.0	76.0	74.0		優先性	A	B
	市の補助率・負担率	%	20.3	31.1	28.4	28.7		総合評価	A	B		
	市民一人当たりコスト	円	6	5	5	5		消費者が求める安全で安心な食料品を供給するため、清潔な施設の維持管理が行われている。 (当市場は、清潔な市場として全国的に高い評価を得ている。)				
	指標	指標	一斉清掃の回数	回	12	11	12	H18目標達成率	4 展開 (ACTION)	展開の方向	食の安全・安心の確保には清潔な施設の維持が重要であり、同協議会への負担金を継続。	
			対前年度伸び率	%		91.7	109.1	100.0%		拡大		
			ねずみ駆除の回数（現在月1回実施）	回	12	12	12	H18目標達成率		継続		
			対前年度伸び率	%		100.0	100.0	100.0%	縮小			
備考												

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		市場まつり事業				3					
事業期間		平成 2 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	農林部 公設地方卸売市場	課コード	062500					
第8次基本計画の位置付け		5 熱気と活気にあふれ輝くまち 2 やる気が活きる産業のまちをつくる 6 多彩な流通基盤の整備をめざす	記入者	堀内	電話	1701					
事業の目的		交付先 松本市公設地方卸売市場協議会	予算 科目	会計 公設地方卸売市場特別会計 款・項 卸売市場費 大業 市場一般管理費							
事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準 定額130万円 松本市公設地方卸売市場協議会（会長 横川 榊丸水長野県水松本支社長）総会で承認	交付先の具体的な活動内容 「市場まつり」 ・オープニングセレモニー ・模擬せり ・まぐる解体実演 ・青果・水産・花きの即売 などの催物を開催する。								
成果指標 活動指標		指標名称	単位	指標の計算式等		H22目標値					
		市場まつり入場者	人	市場まつり当日入場した人数		25,000					
2 事業執行 (DO)		項目	単位	実績 H16年度 H17年度 H18年度 H19年度			見込 H19年度	補助金等の 性格	交付先区分	事業者等	
		総事業費	万円	335.8	265.4	264.3	264.3	3	種類別	事業費助成	
		事業費	万円	200.0	130.0	130.0	130.0	評価・分析 (CHECK)	性質	義務的	
		国・県補助金	万円						継続性	有	
		市（一般）	万円	200.0	130.0	130.0	130.0		終期設定	無	
		人件費	万円	135.8	135.4	134.3	134.3		評価項目	第1次評価	第2次評価
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		必要性	A	A
		嘱託職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20		有効性	A	B
		臨時職員	人						効率性	A	B
		合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	公平性	A	A	
		総事業費	万円	441.0	366.0	349.0	350.0	優先性	A	B	
		市補助金等	万円	200.0	130.0	130.0	130.0	総合評価	A	B	
		市以外の補助金等	万円	157.0	148.0	123.0	123.0	新鮮な生鮮食料品が安価で購入できると共に、普段体験できないセリやマグロの解体などに参加できるイベントとして大勢の市民から親しまれている。			
		その他	万円	84.0	88.0	96.0	97.0				
		市の補助率・負担率	%	45.4	35.5	37.2	37.1				
		単位当たりコスト	円								
		市民一人当たりコスト	円	16	12	12	12	4	展開の方向	多くの市民から評価され秋の大型イベントとして定着しているの で、負担金を継続。 今後は、リサイクル、レジ袋等環境問題を取り込んだ取組みを検討。	
		市場まつり入場者	人	26,000	25,000	25,000	H18目標達成率	拡大			
		対前年度伸び率	%		96.2	100.0	100.0%	継続			
		対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率	縮小			
								廃止			
								休止			
								統合			
備考											

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		市場施設修繕業務				4		
		担当 部課	農林部	公設地方卸売市場	課コード	062500		
		記入者	堀内		電話	1701		
第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち			予算 科目	会計 公設地方卸売市場特別会計		
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる				款・項	卸売市場費 施設管理費	
	6	多彩な流通基盤の整備をめざす				大業	市場施設管理費	
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	市場利用者、市場内業者				老朽化した施設の修繕を計画的に進めることにより、安全かつ効率的な市場管理と、もって食の安全・安心の確保を確実に行うことができる。			
	事業内容・計画		内 容		基礎となる計画			
	老朽化した市場施設の修繕 (シャッター、オーバースライダー、電気・照明設備、給排水設備、冷却設備等)							
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等		
		市場内業者、市場利用者						
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値		
	市場内施設修繕件数		件	施設修繕件数		現水準を維持		
2 事業執行 (DO)	項 目		単位	実 績			見込	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	
	(内 訳)	総事業費	万円	1,127.1	793.3	1,236.8	602.0	
		事業費	万円	935.0	602.0	1,048.0	602.0	
		国・県補助金	万円					
		市(一般)	万円	935.0	602.0	1,048.0	602.0	
		市(起債)	万円					
		その他()	万円					
	(職 員 数)	減価償却費	万円					
		人 件 費	万円	192.1	191.3	188.8	188.8	
		正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
		嘱託職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
		臨時職員	人					
	合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
	事業費に対する収入等の割合		%					
コスト	施設修繕件数	件	37	34	28			
	単位当たりコスト	円	304,622	233,324	441,714			
	市民一人当たりコスト	円	54	35	54	26		
指標	市場内施設修繕件数	件	37	34	28	H18目標達成率		
	対前年度伸び率	%		91.9	82.4			
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率		
市民協働								
備考								
		3 評価・分析 (CHECK)		4 展開 (ACTION)				
		評価項目		第1次評価	第2次評価			
		必要性		AA	A			
		有効性		AA	A			
		効率性		AA	B			
		公平性		A	B			
		優先性		AA	A			
		総合評価		AA	A			
		展開の方向		展開の手段				
		拡大		委託化				
		継続		市民参加				
		縮小		事業主体の見直し				
		廃止		手続きの見直し				
		休止		業務の見直し				
		統合		規模の見直し				
		市場機能を停止させないため、継続的な維持補修を実施。						

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		市場内清掃業務				5		
		担当 部課	農林部	公設地方卸売市場	課コード	062500		
		記入者	堀内		電話	1701		
事業期間	年度 ~ 平成 年度							
	第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち		予算 科目	会計 公設地方卸売市場特別会計		
		2	やる気が活きる産業のまちをつくる			款・項 卸売市場費 施設管理費		
6		多彩な流通基盤の整備をめざす		大事業 市場施設管理費				
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
		市場内業者 市場利用者			生鮮食料品等を取扱う市場の衛生状態の維持及び環境美化を図る。			
2 事業執行 (DO)	事業内容 ・計画	内 容				基礎となる計画		
		市場内の管理部分及び共用部分(トイレ、通路など)の日常清掃・定期清掃業務 水産排水管及び雨水溝清掃業務						
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等		
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値		
	清掃業務実施日数		日	日常清掃・定期清掃の年間実施日数		303.0		
3 評価・分析 (CHECK)	事業費	項 目	単位	実 績			見込	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	
		(内 訳)	総事業費	万円	1,356.9	1,360.7	1,356.2	1,300.0
			事業費	万円	1,289.0	1,293.0	1,289.0	1,300.0
			国・県補助金	万円				
			市(一般)	万円	1,289.0	1,293.0	1,289.0	1,300.0
			市(起債)	万円				
			その他()	万円				
		(職 員 数)	減価償却費	万円				
			人 件 費	万円	67.9	67.7	67.2	67.2
			正規職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			嘱託職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			臨時職員	人				
		合計	人	0.15	0.15	0.15	0.15	
		事業費に対する収入等の割合		%				
コスト	清掃業務実施日数	日	303	303	303			
	単位当たりコスト	円	44,782	44,908	44,757			
	市民一人当たりコスト	円	65	60	59	57		
指標	清掃業務実施日数	日	303	303	303	H18目標達成率		
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	100.0%		
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率		
市民協働							4 展開 (ACTION)	
備考								
		展開の方向		展開の手段				
		拡大		委託化				
		継続		市民参加				
		縮小		事業主体の見直し				
		廃止		手続きの見直し				
		休止		業務の見直し				
		統合		規模の見直し				
		市場を清潔に保つため継続して実施。						

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	市場内整備工事	6
-------	---------	---

事業期間	年度 ~ 平成 年度	担当 部課	農林部 公設地方卸売市場 記入者	課コード	062500
第8次基本 計画の位置 付け	5 熱気と活気にあふれ輝くまち 2 やる気が活きる産業のまちをつくる 6 多彩な流通基盤の整備をめざす	予算 科目	会計 公設地方卸売市場特別会計 款・項 卸売市場費 施設管理費 大業 施設管理費	電話	1701

1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を) 市場内業者 市場利用者	意図(どういう状態にしたいのか) 老朽化した施設、設備等の更新及び維持補修工事を計画的に進めることにより、市場の安全かつ効率的な運営と、食品の品質管理の徹底を図る。		
	事業内容 ・計画	内 容		基礎となる計画	
		市場内の老朽化した施設等を更新、補修等の整備を行う。 18年度主な工事 水産冷蔵庫棟防熱扉更新工事(毎年2面更新 H17~19) 青果付属棟保冷库防熱扉更新工事(毎年2面更新 H18~19) 市場内舗装補修工事 市場内メーター取替え工事			
		市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等	
成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等		H22目標値
	市場内整備工事	件数	整備工事件数		

2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価							
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度											
事業費	総事業費	万円	1,365.1	1,625.3	1,545.8	1,417.8	必要性 AA A 有効性 AA A 効率性 AA B 公平性 A B 優先性 AA A 総合評価 AA A	中南信流通圏115万人住民の食の安定と安全を確保するため、長時間の機能停止等を発生させることなく業務を続けている。	展開の方向	展開の手段							
	事業費	万円	1,173.0	1,434.0	1,357.0	1,229.0											
	(内訳)																
	国・県補助金	万円															
	市(一般)	万円	1,173.0	1,434.0	1,357.0	1,229.0											
	市(起債)	万円															
	その他()	万円															
	減価償却費	万円															
	(職員数)																
	人件費	万円	192.1	191.3	188.8	188.8											
正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	4 展開 (ACTION)	拡大	委託化									
嘱託職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		継続	市民参加									
臨時職員	人						縮小	事業主体の見直し									
合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30		廃止	手続きの見直し									
事業費に対する収入等の割合	%					休止	業務の見直し	統合	規模の見直し								
コスト						市場内整備工事件数	件	14	24	16	5 指標	市場内整備工事	件数	14	24	16	H18目標達成率
単位当たりコスト	円	975,071	677,208	966,125		対前年度伸び率	%		171.4	66.7		H18目標達成率					
市民一人当たりコスト	円	65	71	68	62	対前年度伸び率	%		-	-							
市民協働	施設設備の機能停止を長時間発生させないため、継続的な更新工事等を実施。																
備考																	

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	地産地消の推進	8
-------	---------	---

事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	農林部 農政課	課コード	061000
		記入者	塩原	電話	1613

第8次基本計画の位置付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち	予算 科目	会計	一般会計
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる		款・項	農林水産業費・農業費
	6	多彩な流通基盤の整備をめざす		大事業	農畜産物マーケティング推進事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を) 地域内で生産された安全・安心・新鮮な農産物	意図(どういう状態にしたいのか) 1 生産、流通、加工、小売等を通じて、継続的かつ良好な経済活動により、地域内での消費を増加させる。 2 市民に旬の食材を味わってもらい、健康で豊かな松本、住んで良かった松本づくりを進める。
-------------	-------	------------------------------------	---

2 事業執行 (DO)	事業内容・計画	内容	基礎となる計画
		今後、次の事業を実施し、地産地消を進めます。 1 旬のカレンダー作成、地場農産物フェアの実施、個人出荷農産物の信頼性の向上 2 栽培方法等に基づく松本ブランドの創設、エコファーマーの推進 3 食育の推進、市民農園、オーナー園、観光農園の推進 4 地産地消講座、懇談会の開催	松本市地産地消推進計画
		市民要望(ニーズ)等の状況	根拠法令等
		1 産地がどこかわからない 2 食材の旬がわからない 3 安全かどうかわからない 4 農産物の有利販売	食育基本法 食料・農業・農村基本計画

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	地場農産物フェアの開催回数	回		4.0

項目	単位	実績			見込		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H19年度				
総事業費	万円	284.4	462.0	729.6	664.6	市民から新鮮な地場産農産物の流通拡大を求められており、地産地消推進計画に基づいて事業を実施している。	必要性	A	A	
事業費	万円	36.0	50.0	243.0	178.0		有効性	A	A	
(内訳)							効率性	A	B	
国・県補助金	万円						公平性	A	A	
市(一般)	万円	36.0	50.0	243.0	178.0		優先性	B	B	
市(起債)	万円						総合評価	A	A	
その他()	万円									
減価償却費	万円									
人件費	万円	248.4	412.0	486.6	486.6	展開の方向	展開の手段			
(職員数)							拡大	委託化		
正規職員	人	0.30	0.50	0.60	0.60		継続	市民参加		
嘱託職員	人						縮小	事業主体の見直し		
臨時職員	人					廃止	手続きの見直し			
合計	人	0.30	0.50	0.60	0.60	休止	業務の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					統合	規模の見直し			

コスト	地場農産物フェアの開催回数	回	2	2	3	3	4 展開 (ACTION)
	単位当たりコスト	円	1,422,000	2,310,000	2,432,000	2,215,333	
	市民一人当たりコスト	円	14	20	32	29	
指標	地場農産物フェアの開催回数	回	2	2	3	H18目標達成率	
	対前年度伸び率	%		100.0	150.0	75.0%	
						H18目標達成率	
	対前年度伸び率	%		-	-		

市民協働	地産地消を進めるためには、生産者、JA、流通業者、実需者、消費者、行政など関係する立場の皆さんの主体的な取組が必要。
備考	

市民要望が強いので、引続き地産地消推進計画に基づいて事業を積極的に実施。
若い親の世代への地産地消の意義の浸透を推進。

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		全国公設地方卸売市場協議会負担金				9			
事業期間		昭和 46 年度 ~ 平成 年度		担当 部課	農林部 公設地方卸売市場	課コード	062500		
記入者		堀内		電話	1701				
第8次基本 計画の位置 付け	5	熱気と活気にあふれ輝くまち			予算 科目	会計	公設地方卸売市場特別会計		
	2	やる気が活きる産業のまちをつくる				款・項	卸売市場費		
	6	多彩な流通基盤の整備をめざす				大業	市場一般管理費		
1 概要 (PLAN)	事業の目的		交付先 全国公設地方卸売市場協議会		補助金・負担金等の目的、効果 全国の公設地方卸売市場の連携を密にし、市場の管理業務の適正化と運営の円滑化を図り、市場の健全な発展に寄与する。				
	事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準 定額5万円 全国公設地方卸売市場協議会総会（会長 本田柏市長）で承認		交付先の具体的な活動内容 1 全国の公設地方卸売市場を開設する地方公共団体に組織し、市場の発展を目的とした活動をしている。 2 また、農林水産省と連絡調整団体として、市場の円滑な運営や経営改善に必要な施策の要望、農水省からの通知、調査、事業の調整などを行っている。				
			市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等		
	成果指標 活動指標		指標名称 加入団体の数		単位 団体	指標の計算式等		H22目標値 100	
2 事業執行 (DO)	項目		単位	実績			見込	補助金等の 性格 3 評価・分析 (CHECK) 4 展開 (ACTION)	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		交付先区分 種類別
	事業費 (内訳)	総事業費	万円	87.8	87.4	86.1	86.1		事業者等 事業費助成
		事業費	万円	5.0	5.0	5.0	5.0		義務的
		国・県補助金	万円						継続性 有
	市（一般）	万円	5.0	5.0	5.0	5.0	最終期設定 無		
	（職員数）	人件費	万円	82.8	82.4	81.1	81.1		評価項目
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		第1次評価
		嘱託職員	人						第2次評価
		臨時職員	人						必要性 A B
	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	有効性 A A		
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円	409.0	382.0	397.0	415.0		効率性 A B
		市補助金等	万円	5.0	5.0	5.0	5.0		公平性 A B
		市以外の補助金等	万円	390.0	360.0	365.0	370.0		優先性 A B
		その他	万円	14.0	17.0	27.0	40.0		総合評価 A B
市の補助率・負担率	%	1.2	1.3	1.3	1.2	全国的に市場を取巻く環境が厳しさを増す中で、全国公設市場の動向を把握したり農水省の動き、考えを先取りするなど常に広範囲な情報収集と伝達を行い、会員市場の活性化に寄与している。			
コスト	単位当たりコスト	円					展開の方向		
	市民一人当たりコスト	円	4	4	4	4			
指標	加入団体の数	団体	79	73	83	H18目標達成率	拡大 継続 縮小 廃止 休止 統合		
	対前年度伸び率	%		92.4	113.7	83.0%			
	対前年度伸び率	%		-	-				
備考		全国市場の動向や農水省の動き、考えを把握し、会員市場に伝達する機能は今後も必要であり、同協議会への負担金は継続実施。							